

令和3年度の事業実施状況について

(1) 事業概要

- 「岡山市中央卸売市場戦略的経営展望」（平成23年度策定）の取組を継続して行う（「目指す目標像」の実現）。令和3年度は計画期間最終年度にあたる。
- 岡山市卸売市場経営戦略を新たに策定
（岡山市中央卸売市場戦略的経営展望に基づくこれまでの取組を踏まえ、保全計画・個別施設計画に基づく投資試算結果を反映し、向こう10年程度について市場事業継続の方向性を示す）
- 工事（修繕）の実施
・市場施設の維持管理のため、必要な保全（修繕）を随時行う
- 卸・仲卸業者の経営状況に関する調査・指導、場内関係業者の指導・監督
- 市民イチバダー等の開催による啓発活動

(2) 経営戦略等策定スケジュール（令和2年度から継続）

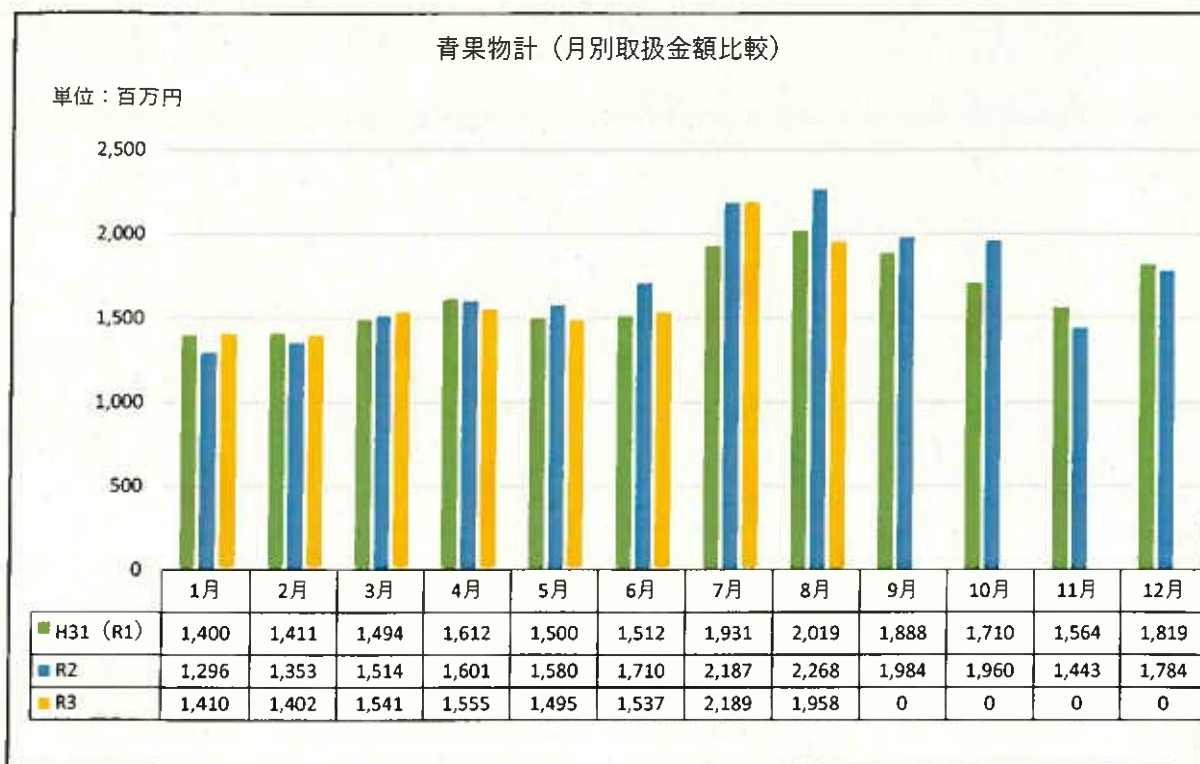
月	10	11	12	1	2	3
経営戦略策定 (R4~R13)						
	取引委員会					
	運営協議会					
			運営協議会			
			市議会			

(3) その他（工事实施予定）

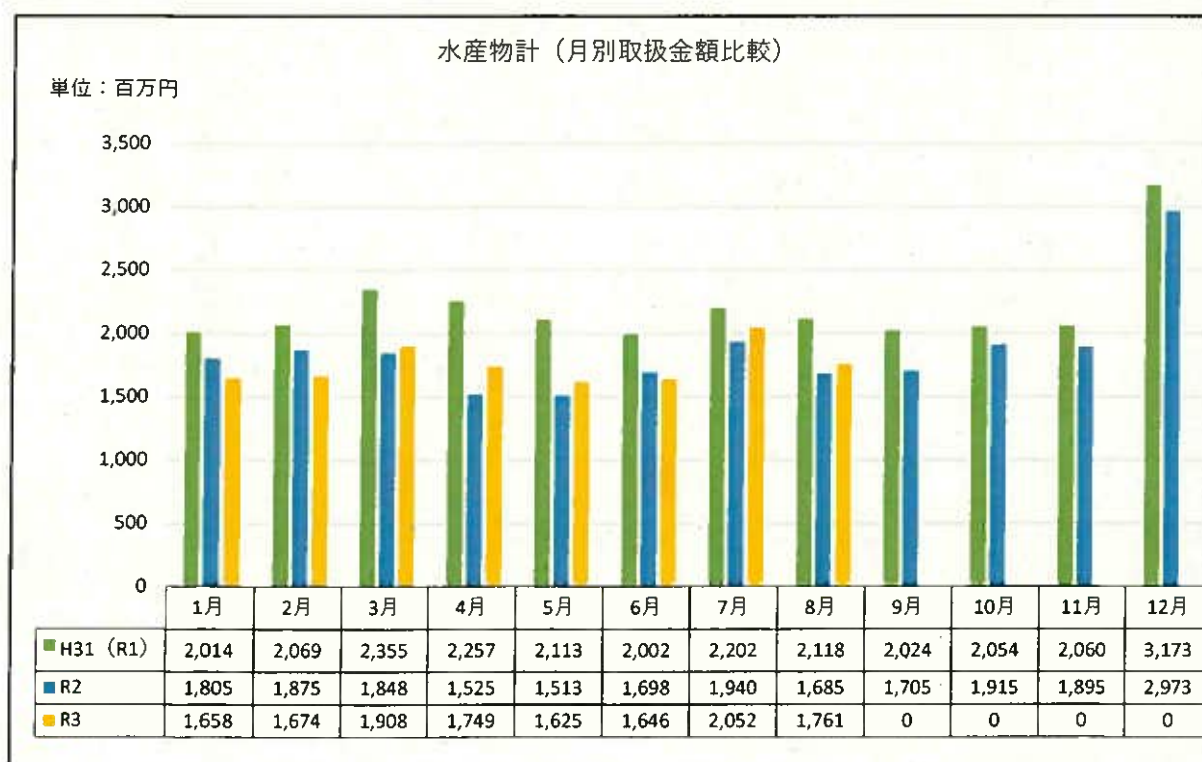
- ・低温売場線、関連棟線高圧ケーブル改修工事
- ・卸売棟南屋根付き荷捌場設置工事の設計

令和3年度の事業実施状況について（取扱高）

青果

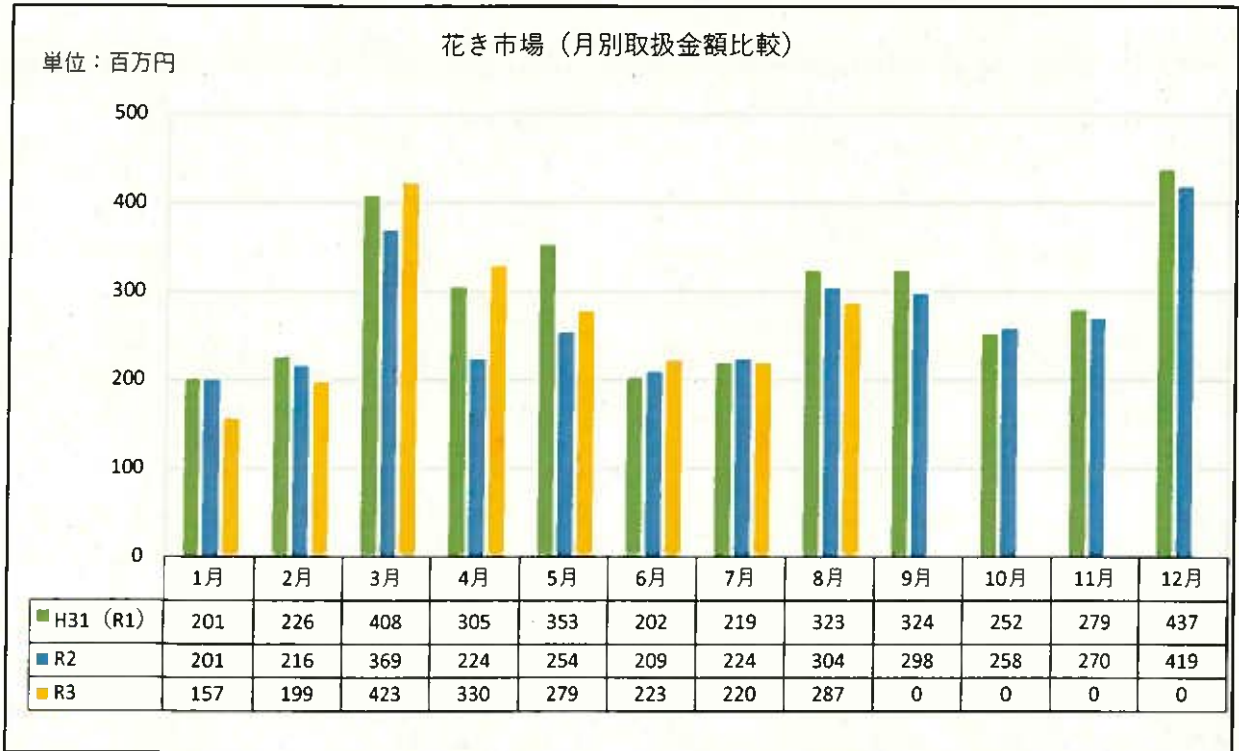


水産



令和3年度の事業実施状況について（取扱高）

花き



令和3年度市場施設使用料支援給付金支給事業

目的

新型コロナウイルス感染症の拡大（第4波）を受け、令和3年5月16日から岡山県に緊急事態宣言が発せられたため、多くの飲食店が休業や時短営業要請を受け入れることとなった。昨年来のコロナ禍で水産及び花き関係事業者を中心に売上が減少しているところ、飲食店の休業等により販売先の需要が急減し、売上がさらに大きく落ち込んでいる。そのため、前々年度同月と比較して今年度の売上が減少している卸業者及び仲卸業者に対して、施設使用料支援給付金を支給し、事業継続を支援することにより市民への生鮮食料品等の安定供給体制の確保につなげるものである。

事業概要

卸業者及び仲卸業者に対する市場施設使用料支援給付金の支給

- 対象者 岡山市中央卸売市場及び花き地方卸売市場の卸業者及び仲卸業者
- 支給要件 新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言の影響で売上高の減少幅が次の基準に該当する者
 - ・ 本年5月において、売上が前々年同期比で15%以上減少している者
 - ・ 本年6月において、売上が前々年同期比で15%以上減少している者
- 支給額 申請時の施設使用料月額から、売上高減少の割合により算定した額

事業実施結果

受付期間 令和3年7月16日から令和3年8月31日まで
受付数 17社
給付額 4,092千円